

(中国丙01)

インフルエンザ

発生推移

= 2025年11月度 =

発表:2025年12月5日 **全国NDPCA**

作成:2025年12月7日

日中医療衛生情報研究所

インフルエンザの分類について

- ここには一般的の季節性インフルエンザと
(2013年11月分以後の)H1N1型が含まれていたが、
2025年9月1日より中国感染症予防治療法が施行されている点に注意。
 - 中国でしか感染者が出ていない
H5N6や、H9N2については、
界面サイトでのH5N6患者に関する記述から、
「その他感染症」に分類されていることが判明しました
- ⇒ <https://www.jiemian.com/article/5659382.html>
(の最終パラグラフご参照)が、
- ⇒ 2025年9月度月報から、H9N2やH5N1、H5N6などが乙5の
『ヒト感染新亜型インフルエンザ』とされるようになりました。

中国インフルエンザの特徴

2008年からこれまでを振り返ってみると、

年間4万人(2009年)から350万人(2019年)までと振幅が大
コロナとインフルエンザの関係についての疑問:

2019年12月は1,199,771人

2020年01月は 986,543人

この2か月連續100万人という状況を、
衛生当局は検査体制の向上によると主張。
これに対し

2020年12月は 23,546人

2021年01月は 20,232人 となつた

謎が一層深まる数字が飛び出した感じ:
'19年末の急増にコロナ患者が含まれていたのでは? ...

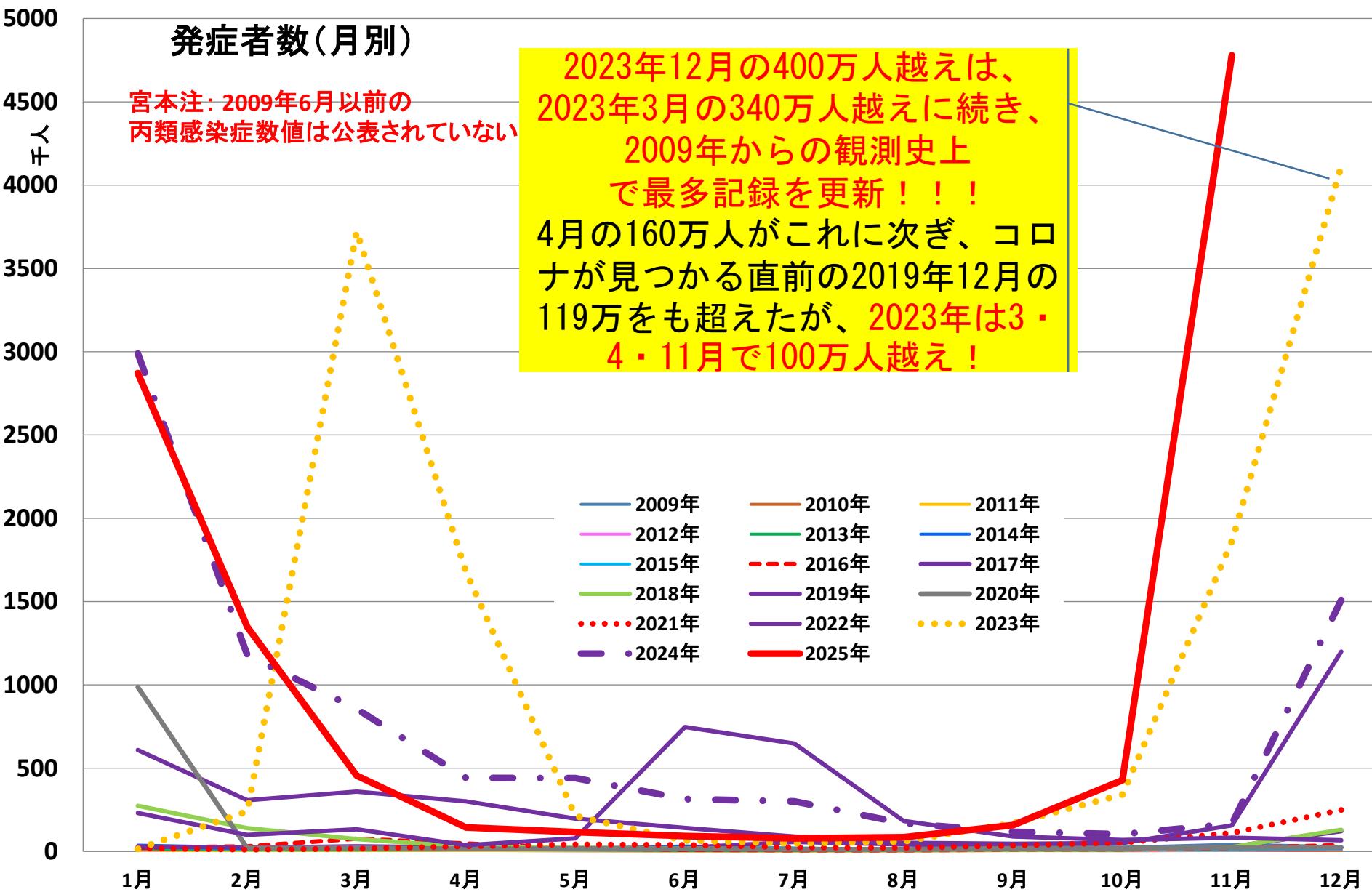
突然爆増する中国のインフル

2008年からこれまでの追跡の中では、年間4万人(2009年)から350万人(2019年)までと振幅が大きいが、コロナが見つかる直前の12月の爆増以外にも単月で突如爆発するケースが増えている：

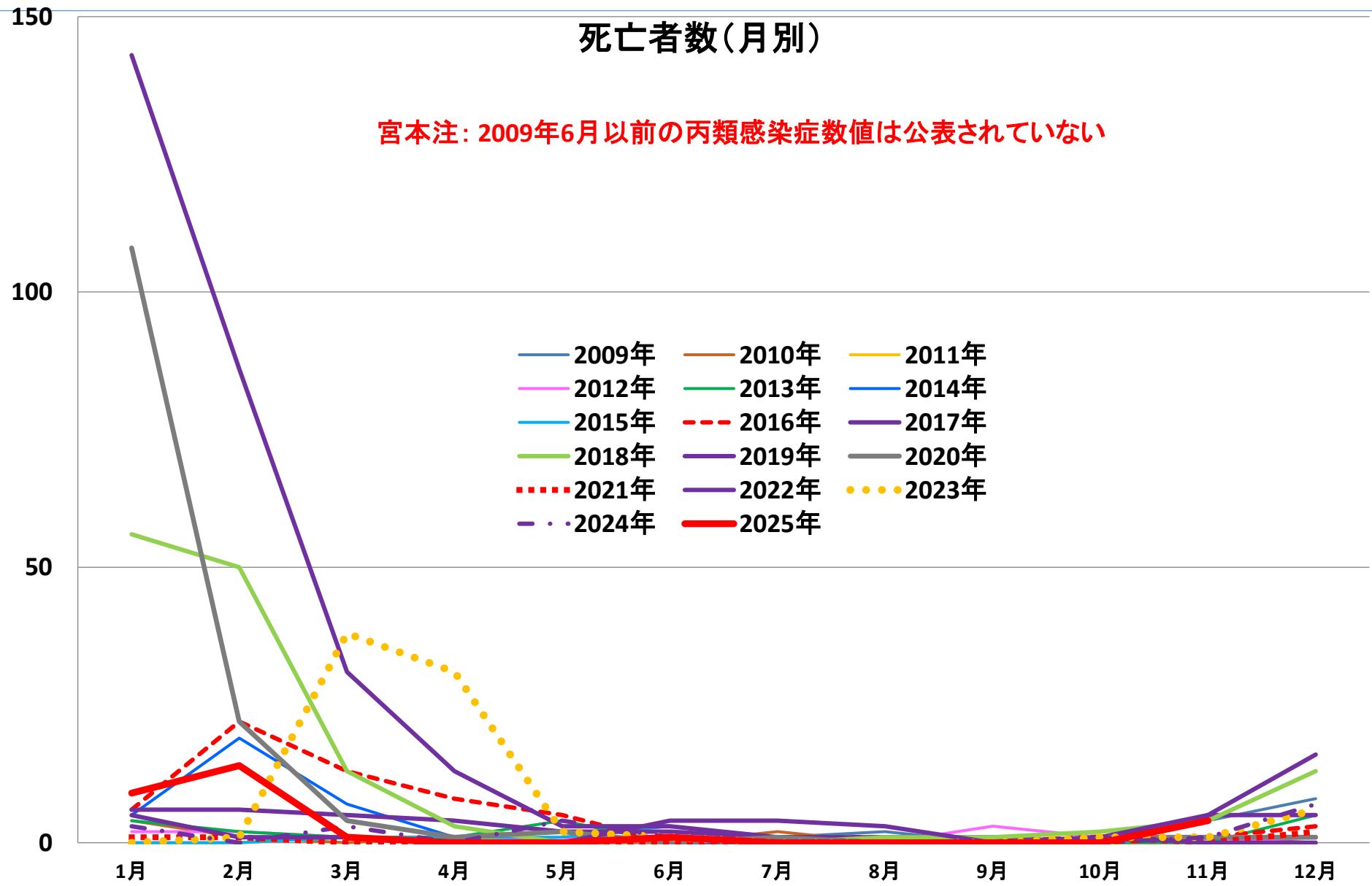
例としては、

2019年12月に1,199,771例・2020年01月に986,543例、
2022年6月に747,038例、7月に648,465例となり、
(双極性を示すことが多い南方での発症者の影響？)
2023年3月には372万例、4月168万例、11月186万例、12月411例となり、1年のうち4か月で巨大な流行に！！)
2024年も、累計では8,588,661例(速報ベース)に。

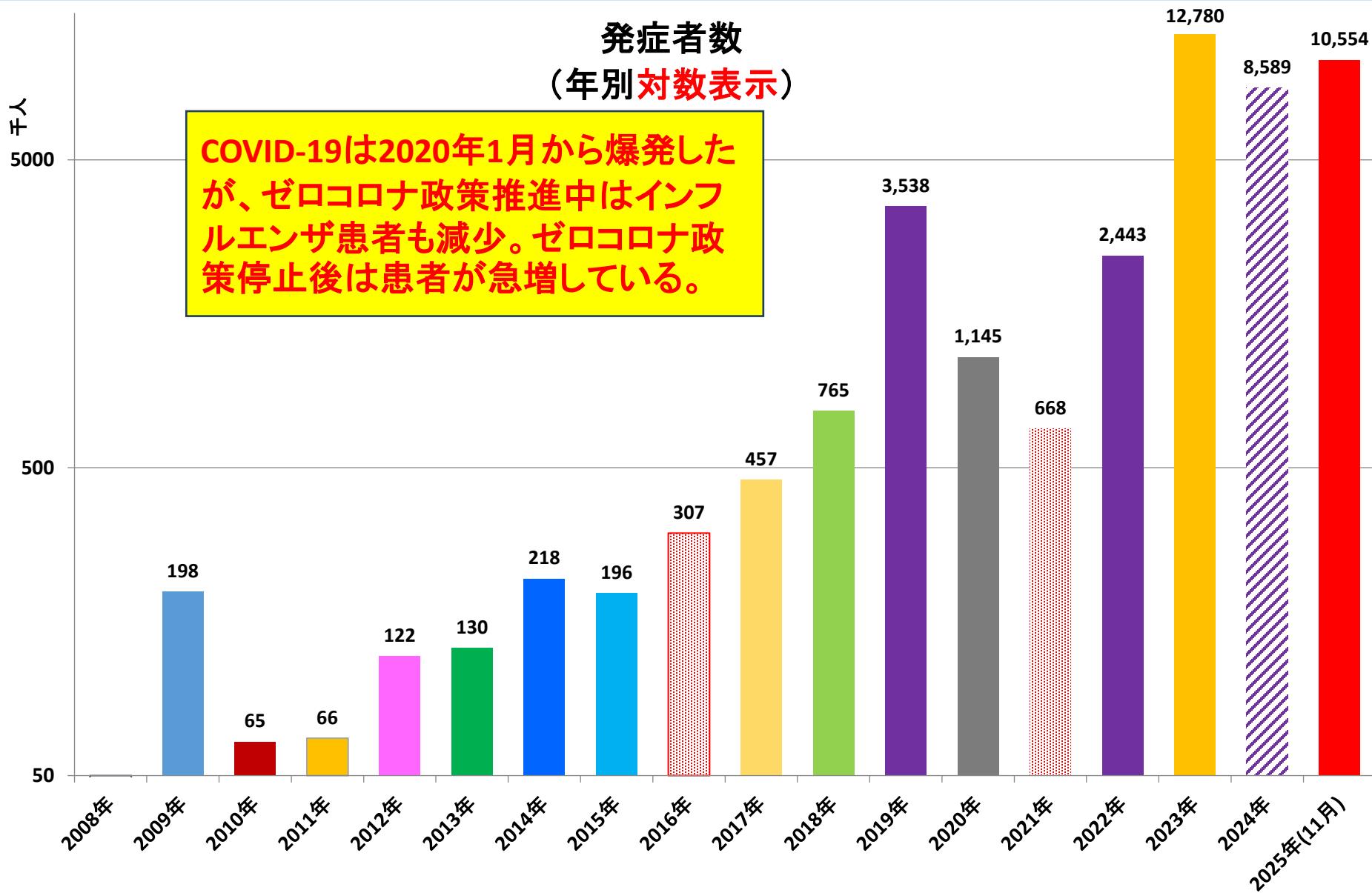
丙01：インフルエンザ発症者数



丙01：インフルエンザ死者数



丙01：インフルエンザ



丙01：インフルエンザ

